

淡江大學 99 學年度第 2 學期課程教學計畫表

課程名稱	日治時期語學研究	授課 教師	富田哲 Tomita Akira
	LINGUISTICS DURING THE JAPANESE COLONIZATION PERIOD		
開課系級	日文一碩士班 A	開課 資料	選修 單學期 2學分
	TFJXM1A		
學系(門)教育目標			
<p>本系碩士班之教育目標在於培育具備以下能力之日語人才：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 培養具備良好日語表達能力之人才。 2. 培養日本文學相關領域之研究人才。 3. 培養日本語學、日語教育相關領域之研究人才。 4. 培養日本文化相關領域之研究人才。 5. 培養具有國際觀及獨立思考之人才。 			
學生基本能力			
<ol style="list-style-type: none"> A. 具備高階日語語言能力（含聽、說、讀、寫、譯）。 B. 具備深入理解日本文學之專業知識。 C. 具備深入理解日本語學、日語教育之專業知識。 D. 具備深入理解日本文化之專業知識。 E. 具備使用工具書蒐集資料、以及專業書面與口頭報告之能力。 F. 具備專業學術論文寫作之能力。 G. 具備專業翻譯就業之能力。 H. 具備獨立及創新思考之能力。 			
課程簡介	<p>本課程將探討日治時期台灣的語言問題，包含語言學習/研究、文學、文化運動等。除了檢討研究論文、討論相關話題之外，亦由閱讀史料企圖了解當時的歷史脈絡。</p>		
	<p>This course is to discuss issues on languages during Japanese Colonial period in Taiwan, including language learning/teaching, literature, cultural movements and so forth. Besides readings and discussions on the topics, we also intend to grasp the historical context of the time by analyzing related first-hand materials.</p>		

本課程教學目標與目標層級、學生基本能力相關性

一、目標層級(選填)：

- (一)「認知」(Cognitive 簡稱C)領域：C1 記憶、C2 瞭解、C3 應用、C4 分析、C5 評鑑、C6 創造
- (二)「技能」(Psychomotor 簡稱P)領域：P1 模仿、P2 機械反應、P3 獨立操作、P4 聯結操作、P5 自動化、P6 創作
- (三)「情意」(Affective 簡稱A)領域：A1 接受、A2 反應、A3 重視、A4 組織、A5 內化、A6 實踐

二、教學目標與「目標層級」、「學生基本能力」之相關性：

- (一)請先將課程教學目標分別對應前述之「認知」、「技能」與「情意」的各目標層級，惟單項教學目標僅能對應C、P、A其中一項。
- (二)若對應「目標層級」有1~6之多項時，僅填列最高層級即可(例如：認知「目標層級」對應為C3、C5、C6項時，只需填列C6即可，技能與情意目標層級亦同)。
- (三)再依據所訂各項教學目標分別對應該系「學生基本能力」。單項教學目標若對應「學生基本能力」有多項時，則可填列多項「學生基本能力」(例如：「學生基本能力」可對應A、AD、BEF時，則均填列)。

序號	教學目標(中文)	教學目標(英文)	相關性	
			目標層級	學生基本能力
1	深入了解日治時期台灣的語言問題和歷史脈絡。	To understand the issues on languages during Japanese colonial period in Taiwan and the historical context of the time.	C4	BCD
2	提升思考和批判能力。	To raise competence for critical thinking.	C6	H

教學目標之教學策略與評量方法

序號	教學目標	教學策略	評量方法
1	深入了解日治時期台灣的語言問題和歷史脈絡。	課堂講授、分組討論	報告、討論、期末考
2	提升思考和批判能力。	課堂講授、分組討論	報告、討論、期末考

授課進度表

週次	日期起訖	內容 (Subject/Topics)	備註
1	100/02/14~100/02/20	課程說明	
2	100/02/21~100/02/27	戴国輝『台灣-人間·歷史·心性』、伊藤潔『台灣-四百年の歴史と展望』、若林正文『台灣-変容し躊躇するアイデンティティ』	請參照本計畫表第5項
3	100/02/28~100/03/06	和平紀念日(放假一天)	
4	100/03/07~100/03/13	西村一之教授(日本女子大學)演講<預定>	
5	100/03/14~100/03/20	殖民地統治與語言問題	
6	100/03/21~100/03/27	殖民地統治與語言問題	

7	100/03/28~ 100/04/03	殖民地統治與語言問題	
8	100/04/04~ 100/04/10	兒童節(放假一天)	
9	100/04/11~ 100/04/17	日治初期臺灣語(河洛語)學習	
10	100/04/18~ 100/04/24	日治初期臺灣語(河洛語)學習	
11	100/04/25~ 100/05/01	日治時期原住民語言學習	
12	100/05/02~ 100/05/08	日治時期原住民語言學習	
13	100/05/09~ 100/05/15	日治時期原住民語言學習	
14	100/05/16~ 100/05/22	班納迪克. 安德森, 《想像的共同體》	
15	100/05/23~ 100/05/29	班納迪克. 安德森, 《想像的共同體》	
16	100/05/30~ 100/06/05	尚-保羅·沙特, 《殖民主義與新殖民主義》	
17	100/06/06~ 100/06/12	端午節(放假一天)	
18	100/06/13~ 100/06/19	尚-保羅·沙特, 《殖民主義與新殖民主義》	
修課應 注意事項	<p>狭義の「語学」にとどまらず、日本統治期の台湾におけるさまざまな言語活動、さらにはそうした言語活動をとりまく社会状況について、はばひろく議論をしたいと考えています。この時期の一次史料に触れたことがない学生も少なくないであろうことにかんがみ、史料読解の機会もつげます。また、台湾史・文化人類学などの領域の研究者に講演に来ていただく予定です。</p> <p>このクラスに能動的に参加するためには、当然のことながら日本統治期にかんする基本的な理解が必要です。受講しようと思っているものの、日本統治期のことについてはよく知らないという人は、冬休み中に自分でだいたいの流れを把握しておいてください。その際には以下の書籍の日本統治期の部分が参考になるでしょう。①の『台湾 - 人間・歴史・心性』は淡江の図書館には所蔵されていませんが、ご覧になりたい方には私がお貸しします。他の2冊はいずれも図書館にあります。これら3冊を記述や視点のちがいを対照させながら読むとおもしろいでしょう。</p> <p>①戴国輝『台湾 - 人間・歴史・心性』岩波書店、1988年。 ②伊藤潔『台湾 - 四百年の歴史と展望』中央公論社、1993年。 ③若林正丈『台湾 - 変容し躊躇するアイデンティティ』筑摩書房、2001年。</p> <p>また、『台湾歴史辞典』(2004年, 行政院文化建設委員会)という辞典がありますが、これがネット上でも公開されていて非常に便利です。ぜひ利用してみてください(http://nrch.cca.gov.tw/ccahome/website/site20/copyright.html)。</p> <p>なお、今学期は吳佩珍先生の「日治時期文学研究」が開講されます。日本統治期の歴史的な文脈を理解するために、本課程を受講するみなさんが、あわせて吳先生の授業も履修することを強く希望します。</p>		
教學設備	電腦、投影機		
教材課本	上課中指示。		
参考書籍	上課中指示。		

批改作業 篇數	篇（本欄位僅適用於所授課程需批改作業之課程教師填寫）
學期成績 計算方式	◆平時考成績： % ◆期中考成績：40.0 % ◆期末考成績：40.0 % ◆作業成績： % ◆其他〈上課表現〉：20.0 %
備 考	「教學計畫表管理系統」網址： http://info.ais.tku.edu.tw/csp 或由教務處 首頁〈網址： http://www.acad.tku.edu.tw/index.asp/ 〉教務資訊「教學計畫 表管理系統」進入。 ※非法影印是違法的行為。請使用正版教科書，勿非法影印他人著作，以免觸法。